

令和2年度 泉区災害ボランティア連絡会事業計画

1 災害ボランティア活動のためのネットワークの充実に向けて

泉区においては、発災時に区災害対策本部の要請を受けて、泉区社協が「災害ボランティアセンター」を立ち上げます。このセンターには、多くのニーズが集まると同時に、市内や他都市から多くの救援ボランティアを受け入れ、ニーズと救援ボランティアをマッチングし、被災者支援にあたっていく役割を担います。

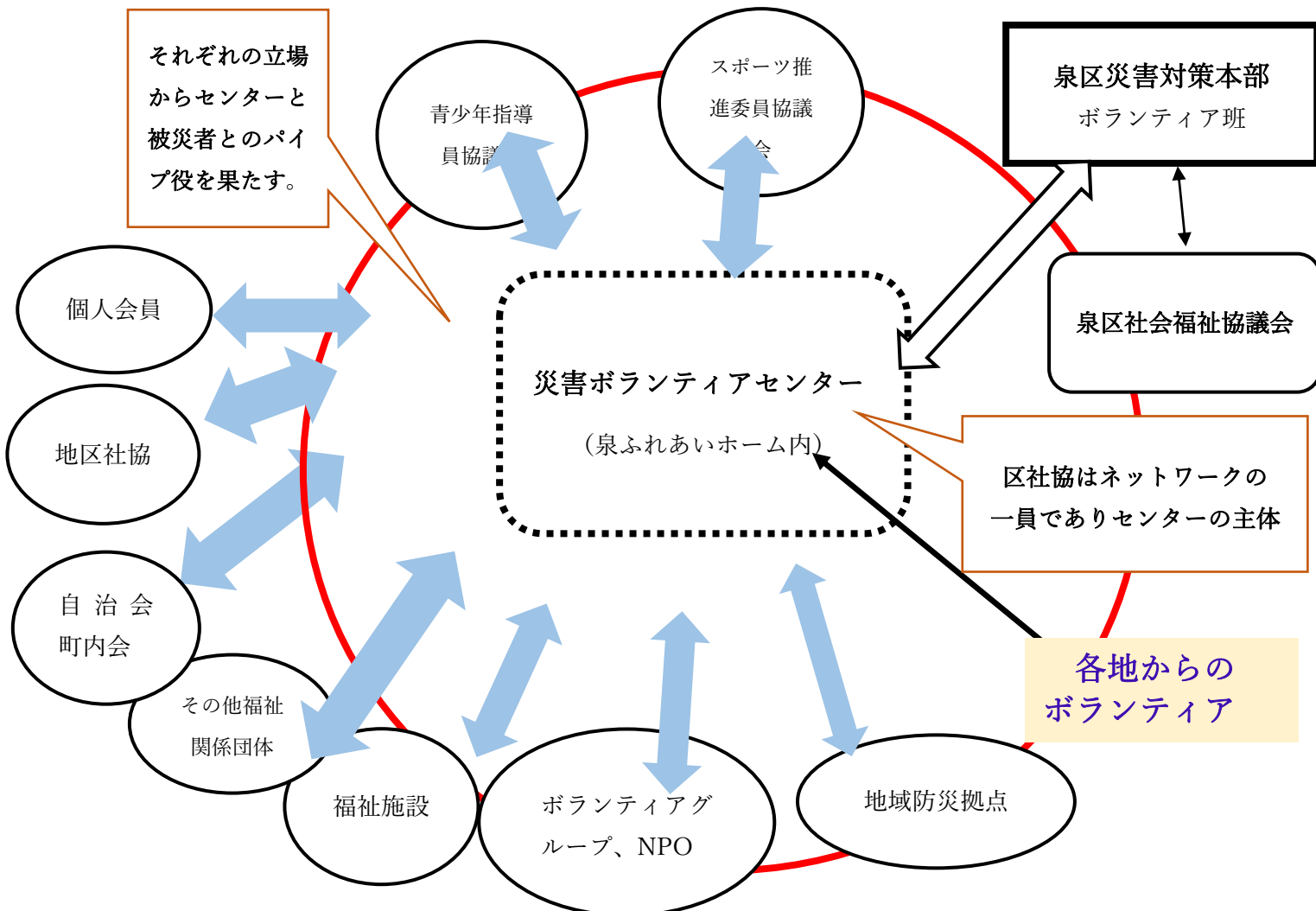
センターの運営を担うのは、泉区社協が中心に行いますが、「泉区災害ボランティア連絡会」は、災害時に救援ボランティアが動きやすい環境を作ることを役割として結成されています。（下図のとおり）

そのためにこの連絡会には、さまざまな団体・組織や個人に加盟していただき、それぞれの役割と独自の方法で力を発揮する強いネットワークを形成していく必要があります。

連絡会では、平常時には、防災減災に関する情報交換や広報活動、その他、訓練や資機材資金の整備検討に取り組めます。また、災害時には、被災地・者と災害ボランティアセンターとのパイプ役を果たし、ボランティアの受け入れや被災情報及び生活情報の収集発信等に取り組めます。

この活動を継続し充実させていくには、平常時から泉区災害ボランティア連絡会のネットワークを充実・強化していく要努めて参ります。

災害ボランティア連絡会 イメージの共有



2 ネットワーク強化のための具体的な事業

このような災害ボランティア連絡会の役割と機能を踏まえ、令和2年度の具体的な取組みを以下のように考えています。

- (1) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練（区社協と共同開催）
- (2) 災害時に備えた資機材、資金の整備
- (3) 区民まつり、防災フェア、サマースクール等における防災意識の啓発
- (4) 区災害対策本部（区総務課）主催訓練を通じたネットワークの強化
- (5) 会員の拡充
- (6) 会員の防災意識と技術の向上

また、各月に予定した事業は、以下のとおりです。

月/日	事業内容
5月	泉区災害ボランティア連絡会総会 【書面表決所にて実施】
6月	横浜災害ボランティアネットワークCブロック会議（保土ヶ谷区幹事）
	横浜災害ボランティアネットワーク会議総会 研修：未定
7月	会員の内部研修
9月	泉区災害対策本部主催訓練
10月	「泉区災害ボランティア通信」を発行
	小中学生体験講座の講師として参加 テーマ：サバイバル飯を食べよう
	小中学生体験講座の講師として参加 テーマ：QQ隊に入隊しよう
11月	区民ふれあい祭りに参加
	泉区防災フェアに参加
	横浜災害ボランティア連絡会Cブロック会議（旭区幹事）
1月	災害ボランティアセンター立ち上げシミュレーション訓練
2月	横浜災害ボランティアネットワーク会議 研修
3月	「泉区災害ボランティア通信」を発行

◆運営委員会は、毎月第1水曜日に開催します。

◆横浜災害ボランティアネットワーク会議運営委員会・実行委員会に毎月参加します。